

覚王山おさんぽ日記♪



↑色んなお店があって、目移りしちゃう♪

日泰寺は、タイ王国から寄贈された仏舎利を安置するために、明治37年に創建されました。どの宗派にも属していない日本で唯一の超宗派の寺院ということです。ちなみに、覚王山の「覚王」は、釈迦の別名で、日泰寺の「日泰」は、日本とタイを表しています。

覚王山駅2番出口を出ると、日泰寺まで、ゆるい昇り坂になっています。参道沿いには、懐かしい駄菓子を扱うお店から、インド料理、アジア雑貨、素敵なケーキ屋さんなど、色々なお店が店を連ねています。



↑北園にある白雲橋
修学院離宮の千歳橋を模したといわれています

日泰寺から、東に坂を下ると、(株)松坂屋の創始者、15代伊藤次郎左衛門祐民氏が、大正から昭和初期にかけて建設した揚輝荘があります。現在、揚輝荘の北園は、無料で見学できます。ぜひ都会の喧騒から離れ、緑に囲まれたお庭を散策してください。(月曜休)



↑庭園ギャラリー・いち倫
お庭を眺めながらのお茶は、ゆったりとした気分になれます。

覚王山散策のしめくくりは、日泰寺の西側にある庭園ギャラリー・いち倫へ。(月火祝・休) 黒壁の門をくぐった先には、昭和14年に建てられたという洋間のついた近代和風住宅があり、そこが現在、カフェになっています。戦後すぐは、GHQに接収されていたという歴史もある建物で、現在、名古屋市登録地域建造物資産になっています。



奥の座敷からは、高低差のある地形を活かした素敵な庭が眺められます。洋風が好きな方は、入口すぐの応接間へ。白漆喰の天井が素敵な洋間があります。

時には、覚王山まで足をのばして、優雅な時間を満喫してください♪

(miho)